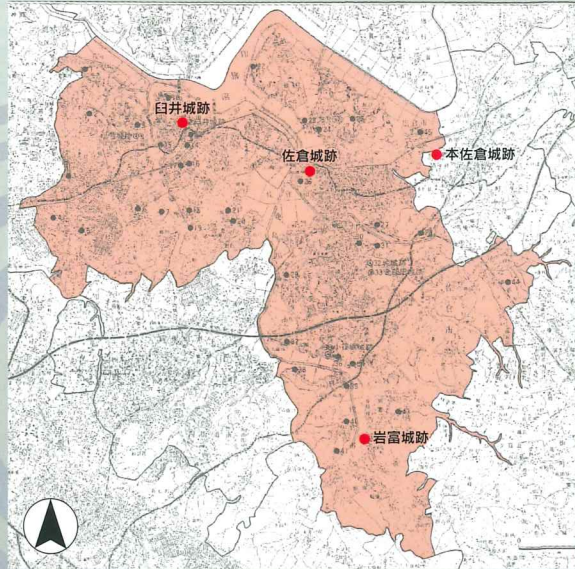


佐倉城以外の市内の主な中近世城館跡

佐倉市内の城館跡は、佐倉城のほか、本佐倉城跡（国指定史跡）など現在58か所が確認されています。中でも、臼井城跡や岩富城跡といった拠点城郭の遺構も残されています。これらの城館は、中世から近世にかけて使用されたもので、佐倉城が築かれる以前の佐倉の様相を今に伝えています。

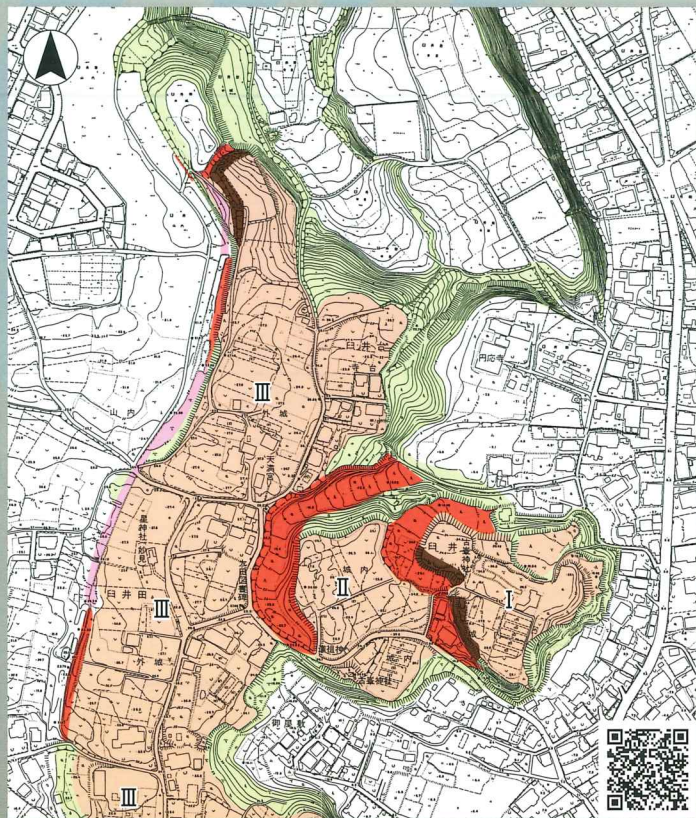


佐倉市の中近世城館跡位置図

臼井城跡(臼井城址公園)

佐倉市指定史跡

臼井氏の城でしたが、戦国時代後半には、原氏が城主となりました。天正18年(1590)に小田原北条氏が滅亡し、徳川家康が関東を支配するのに伴い家臣の酒井家次が城主に。その後、慶長9年(1603)、家次の転封に伴い廃城となりました。城は、I・II郭といった主要な郭の外側にIII郭を設け、さらに城のある台地縁辺部に支城を作り外敵に備えました。

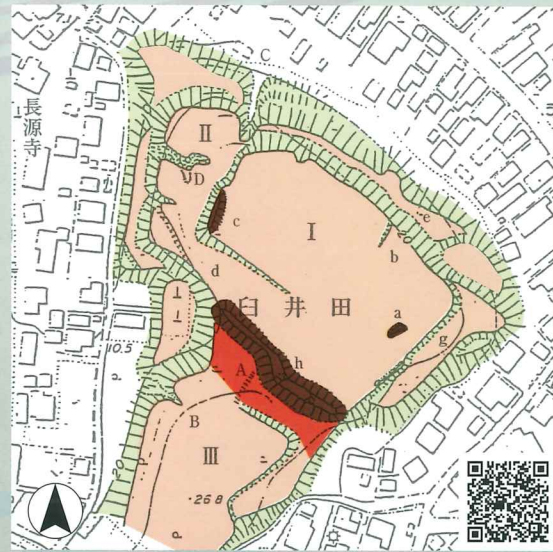


凡例
 斜面 堀 土塁 埋められた堀 曲輪 消滅した土塁

うすい だしゅうちとりであと 臼井田宿内砦跡(宿内公園)

佐倉市指定史跡

唯一の完存する臼井城の支城です。主郭を囲むように土塁や空堀、腰曲輪が配されています。防御を重視した構造は、砦が戦いの前衛としての役割を担っていたことをうかがわせるものです。



Google Map で位置を確認できます

いわとみじょうあと 岩富城跡

中世には、原氏が城主でしたが、小田原北条氏の滅亡後は、新たに徳川家康の家臣となった北条氏勝が一万石で入城しました。五角形の主郭を中心として曲輪が配され、城下町も整備されました。慶長18年(1613)の北条氏転封により廃城となりました。



お城のあるまち 佐倉

さくらじょうあと 佐倉城跡

佐倉市指定史跡、日本100名城、日本遺産構成文化財

佐倉城復元CG鳥瞰図



現在の空撮写真

現在の地形データに加え、発掘調査の成果、絵図、記録類、古写真などをもとに江戸時代中頃の佐倉城をCGで再現しています。左のQRコードから動画を見ることができますので、より鮮明なイメージで当時の佐倉城の姿をご覧ください。

佐倉城は、中世に千葉一族の鹿島幹胤が設けた城を江戸時代初頭に土井利勝が大幅に造り替えて築いた城です。江戸の東の要衝として、土井利勝以降、石川氏、堀田氏、松平氏、大久保氏、戸田氏、稲葉氏といった有力な譜代大名が城主となり、老中をはじめとする要職を務めました。延享3年(1746)に堀田正亮が城主となって以降は、堀田氏が6代にわたって城主となり、明治維新を迎えました。

佐倉城は石垣を持たない「土づくり」の城ですが、その縄張り(城全体の平面設計)は、戦国時代から発達してきた城普請の集大成の一つに数えられます。明治6年(1873)に、陸軍第一軍営東京鎮台の佐倉営所が設置されると、城内の建物は順次取り壊されました。そのため、その姿を現在みることはできませんが、城全体の遺構は良好な状態で残っています。この点が評価され、「日本100名城」のひとつにも選ばれています。

古写真に残る佐倉城の建築物

(①~⑤は個人蔵、⑥は佐倉市複写蔵)



①大手門



②一の門



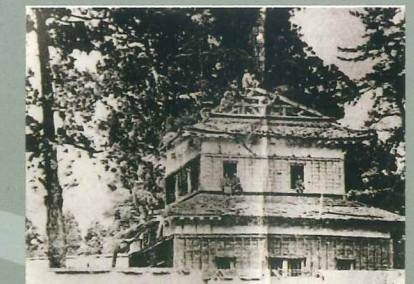
③二の門



④三の門



⑤椎木門



⑥銅櫓

江戸時代中頃(18世紀前半)の佐倉城

(「佐倉城大絵図」より)



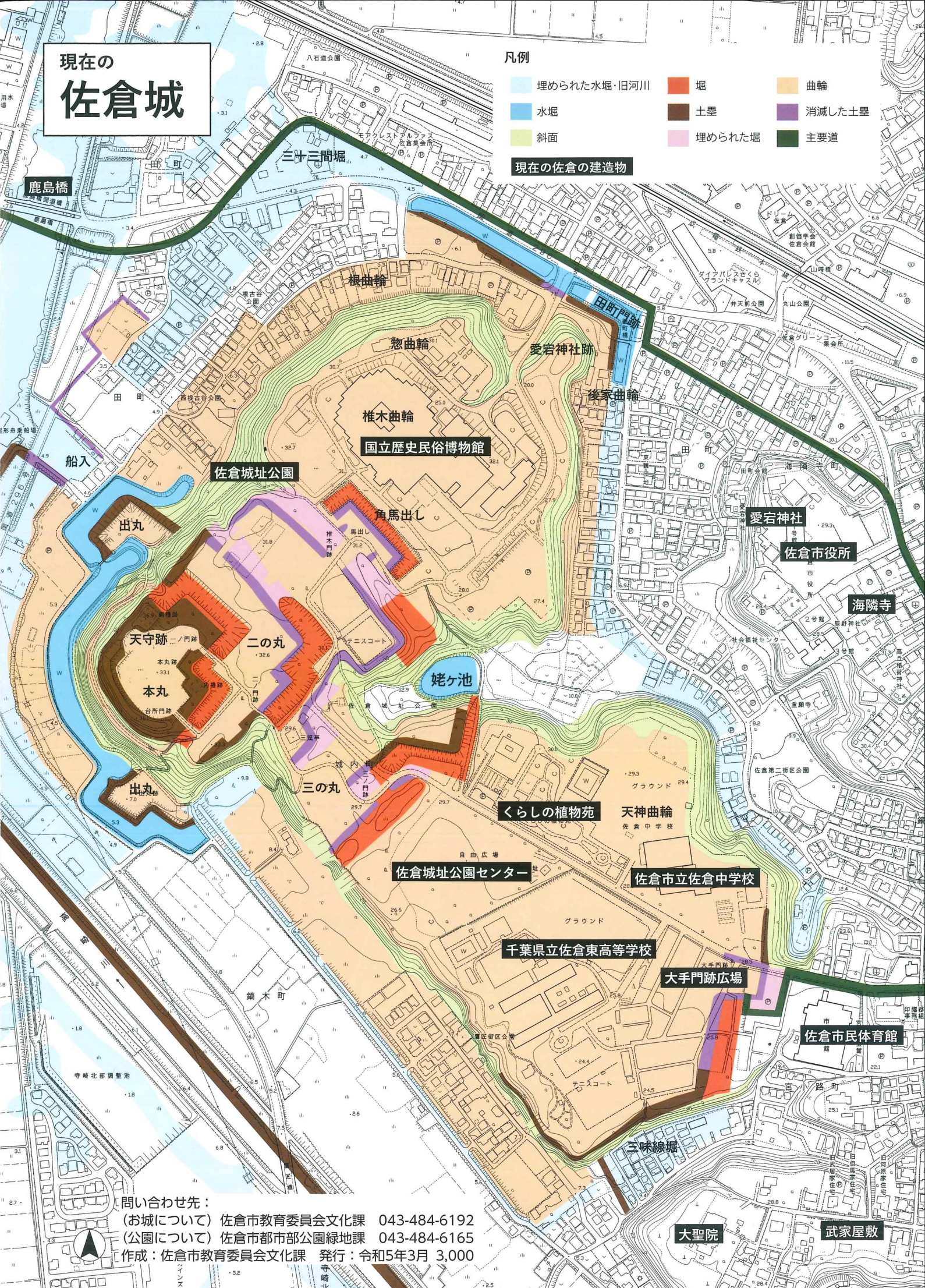
- 〈主要な建造物、門など〉
- | | |
|--------------|---------------|
| 【本丸】 | 【椎木曲輪】 |
| ①天守 | ⑭椎木門 |
| ②銅櫓 | ⑮角馬出し |
| ③一の門 | ⑯樹木屋敷 |
| ④角櫓 | ⑰円勝寺 |
| ⑤台所門 | ⑱愛宕社 |
| | ⑲田町門 |
| 【二の丸】 | 【天神曲輪】 |
| ⑥対面所 | ⑳天神社 |
| ⑦城米蔵 | ㉑大手門 |
| ⑧城米不明門 | ㉒鐘楼 |
| ⑨二の門 | |
| 【三の丸】 | 【その他】 |
| ⑩小姓長屋 | ㉓鹿島橋門 |
| ⑪米蔵 | ㉔厩 |
| ⑫樹木屋敷 | ㉕馬場 |
| ⑬三の門 | ㉖根曲輪 |

佐倉城の特色「土づくりの城」
 佐倉城は石垣を用いず、土塁と空堀・水堀を巧みに配置し守りを固めました。防御のために築かれた土手を土塁、防御のための溝で水のないものを空堀、水のあるものを水堀と呼びます。現在の佐倉城跡でも、当時の名残をよく見ることができます。
 なかでも特徴的なのは、⑮の角馬出しです。これは、出入口の前にある堀の対岸に、コの字形の堀をめぐる突陣地を加えて、守りを固めながら出撃することを可能にしたものです。現在、外側のコの字の堀は復元されていますが、本来内側にあった堀までは復元されていません。絵図と対比することで本来の姿を把握することができます。



「佐倉城大絵図」(部分)【佐倉市指定文化財、個人蔵】
 この絵図は、江戸時代中期、18世紀前半の佐倉城とその城下を描いた絵図です。堀田家に伝来していた絵図で幅393cm、高さ166cmと佐倉城を描いた絵図でも大きく、精度が高いものです。さらに、建物や樹木などに絵画的表現がみられ、当時の城の様子を想起させる絵図として重要な資料となっています。

現在の佐倉城



- 凡例
- | | | |
|-------------|--------|--------|
| 埋められた水堀・旧河川 | 堀 | 曲輪 |
| 水堀 | 土塁 | 消滅した土塁 |
| 斜面 | 埋められた堀 | 主要道 |
- 現在の佐倉の建造物

問い合わせ先：
 (お城について) 佐倉市教育委員会文化課 043-484-6192
 (公園について) 佐倉市都市部公園緑地課 043-484-6165
 作成：佐倉市教育委員会文化課 発行：令和5年3月 3,000